



第3回野球大会 佐倉支部が初優勝

日刊動労千葉

81. 7. 15
No. 793

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆) 〇三三三(七)二〇七

優勝：佐倉支部
準優勝：幕張支部
第三位：勝浦支部
同：津田沼支部

最高殊勲賞：小林源一(佐倉)
打撃賞：境表明(幕張)
敢闘賞：根本英治(佐倉)
同：三瓶悦男(幕張)
(敬称略)

雨のため順延となっていた第三回野球大会・準決勝2試合と決勝戦が去る七月十一日、十時より千葉市内・千葉鉄球場において行なわれました。炎天下したたり落ちる汗をぬぐいつつ、暑さを吹き飛ばして、各選手とも健闘しました。この結果、チームワークと投手力にまさる佐倉支部が初優勝をはたしました。

△準決勝第一試合△

幕張	0	0	3	1	1	3	0
津田沼	1	0	0	0	0	0	0
	1						8

一回、幕張が簡単に三者凡退、その裏、津田沼は、一番古川が四球で出塁するとすかさずバントで送り、四番石川がレフトオーバートの二塁打で先取点をあげる。

しかし、二回まで津田沼小倉投手に押さえられていた幕張は、八番加藤のヒットを足場に連続エラーと四番境のセンター前ヒットで三点をあげ、逆転。

四回・五回にも一点づつ追加し、六回、代った津田沼鈴木投手から四球・長短三連打をうばい、ダメ押しの一打をあげた。

△準決勝第二試合△

佐倉	0	0	0	1	0	0	0
勝浦	0	0	0	0	1	0	0
	1						1

ルール
促進 0 2
1 3

両チームの投手の出来がよく、緊迫した戦いとなった。

四回、二番佐久間のセンター前ヒット、盗塁と強行策が成功し、一死二塁のチャンス。つづいて四番根本のセンター前ヒットで待望の一点を先行。

五回裏、闘志盛んな勝浦は、一番窓塚、二番久我の長短打ですぐ同点とし、七回まで両投手の頑張りでも均衡やぶれず促進ルールとなる。

佐倉は、三番椎名のサード強襲ヒットと四番根本の犠牲フライで二点を獲得。勝浦は、果敢な攻撃を行なったが、佐倉小林投手の力投に押さえられ決勝進出ならず。

△決勝戦△

幕張	0	0	0	0	0	0	0
佐倉	0	0	0	0	0	1	×
	×						0

若さと若さのぶつかり合いは、まさに手に汗を握る激戦となった。

佐倉小林、幕張三瓶両投手の戦いは、息詰まる投手戦がつづく。

六回裏、佐倉、二番佐久間のサードゴロを悪投。無死二塁のチャンス到来。三番椎名のファーストゴロで三進。四番根本と幕張三瓶投手の一騎打ちとなる。根本の粘り勝ちで犠飛、佐久間が生還し、待望の一点をあげる。

七回、佐倉の小林投手の熱投で一点を守り、佐倉が初優勝に輝く。



優勝杯をうける佐倉支部チーム